

上野豪久、田口智章、福澤正洋 本邦小腸移植登録 移植 2013:48(6)390-394

定と看護支援 小児外科 2013 : 45(7) 761-764

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) Ueno T, Wada M, Hoshino K, Uemoto S, Taguchi T, Furukawa H, Fukuzawa M. Impact of pediatric intestinal transplantation on intestinal failure in Japan: findings based on the Japanese intestinal transplant registry. *Pediatr Surg Int.* 2013;29(10):1065-70.
- 2) Ueno T, Wada M, Hoshino K, Sakamoto S, Furukawa H, Fukuzawa M. A national survey of patients with intestinal motility disorders who are potential candidates for intestinal transplantation in Japan. *Transplant Proc.* 2013;45(5) 2029-31
- 3) Ueno T, Takama Y, Masahata K, Uehara S, Ibuka S, Kondou H, Hasegawa Y, Fukuzawa M. Conversion to prolonged-release tacrolimus for pediatric living related donor liver transplant recipients. *Transplant Proc.* 2013;45(5) 1975-84
- 4) 上野豪久、福澤正洋 腸管不全患者における小腸移植の適応 小児外科 2013: 45(7) 703-706
- 5) 上野豪久、正嶋和典、井深泰司、銭谷昌弘、中嶋賢吾、奈良啓悟、上原秀一郎、大植孝治、臼井規朗 小腸移植術(レシピエント手術) 小児外科 2013:45(8) 851-858
- 6) 上野豪久 他 小腸、多臓器移植 系統小児外科学 改訂第3版 2013
- 7) 上野豪久、田口智章、福澤正洋 本邦小腸移植登録 移植 2013:48(6)390-394
- 8) 井深泰司、上野豪久 小腸移植における急性拒絶反応の抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(サイモグロブリン®)治療 小児外科 2013 : 45(7)734-737
- 9) 萩原邦子、上野豪久 小腸移植の意思決

- 10) Miyagawa S, Takama U, Nagashima H, Ueno T, Fukuzawa M. Carbohydrate antigens. *Curr Opin Organ Transplant.* 2012: 17 174-9
- 11) Ikeda K, Yamamoto A, Nanjo A, Inuinaka C, Takama Y, Ueno T, Fukuzawa M, Nakano K, Matsunari H, Nagashima H, Miyagawa S. A cloning of cytidine monophospho-N-acetylneuraminic acid hydroxylase from porcine endothelial cells. *Transplant Proc.* 2012: 44, 1136-8
- 12) 上野豪久、福澤正洋. 本邦小腸移植登録 移植 2012: 47(6) p450-3

### 2. 学会発表

- 1) 上野豪久、山道拓、梅田聡、奈良啓悟、中嶋賢吾、銭谷昌弘、井深泰司、正嶋和典、大割貢、上原秀一郎、大植孝治、近藤宏樹、臼井規朗 小腸移植後13年目に下痢により発症した重症急性拒絶にサイモグロブリンを投与した1例 第49回日本移植学会総会 京都 2013. 9. 6
- 2) 上野豪久1, 和田基 2, 星野健, 阪本靖介, 古川博之, 福澤正洋 ヒルシユスプルング病類縁疾患の重症度分類と小腸移植適応についての検討 第113回日本外科学会総会 福岡 2013. 4. 12
- 3) Ueno T., Wada M., Hoshino K., Sakamoto S., Furukawa H., Fukuzawa M. National Survey of Patients with Intestinal Motility Disorder Who Are Potential Candidate for Intestinal Transplantation in Japan The Transplant Society Berlin, Germany 2012.7.17
- 4) Ueno T., Fukuzawa M. A REPORT OF JAPANESE PEDIATRIC INTESTINAL

TRANSPLANT REGISTRY  
International Pediatric Transplant  
Association Regional Meeting  
Nagoya, Japan 2012.9.23

- 5) 曹 英樹、上原 秀一郎、上野 豪久、和佐 勝史、山田 寛之、近藤 宏樹  
小児腸管不全症例にたいする在宅静脈栄養の現状と問題点 30年の経験より 日本小児消化器肝臓学会(39) 大阪市 2012.7.14-15
- 6) 曹 英樹、奈良啓悟、中島憲吾、銭谷昌弘、井深奏司、正嶋和典、野村元成、上野豪久、上原秀一郎、大植孝治、臼井規朗. 小児に対する経皮内視鏡的胃瘻造設術における透視の有用性 日本小児内視鏡外科・手術手技研究会(32) 静岡市 2012.11.1-2
- 7) 上原 秀一郎、曹 英樹、井深 奏司、奈良 啓悟、上野 豪久、大植 孝治、臼井 規朗、池田 佳世、近藤 宏樹、三善 陽子 ブロビアックカテーテル長期留置後抜去困難となり、カテーテルに対するDLSTが強陽性を示した1例 第42回日本小児外科代謝研究会 静岡 2012.11.2
- 8) 上原秀一郎、曹英樹、和佐勝史、大石雅子、福澤正洋 在宅中心静脈栄養施行症例における経静脈的セレン投与の取り組みとその意義 第23回日本微量元素学会 東京・千代田区 2012.7.6
- 9) 上野 豪久、福澤 正洋 腸管不全患者における小腸移植適応の検討 第24回日本小腸移植研究会 京都 2012.3.17
- 10) 上野 豪久、和田 基、星野 健、阪本靖介、岡本晋弥、松浦 俊治、古川博之、福澤 正洋 小児腸管不全患者における小腸移植適応の検討 第49回日本小児外科学会学術集会 横浜 2012.5.16

- 11) 上野豪久、中島憲吾、銭谷昌宏、井深奏司、正嶋和典、野村元成、奈良啓悟、上原秀一郎、曹英樹、大植孝治、臼井規朗. 当科における小児生体肝移植後の栄養管理 ー経管栄養と中心静脈栄養ー "第42回 日本小児外科代謝研究会 静岡 2012.11.2

#### 4. 単行本

- 1) 上野豪久 浅野武秀監修 脳死ドナーからの臓器摘出と保存:小腸 移植のための臓器摘出と保存 2012. p144-153

#### H. 知的財産の出願・登録状況

なし

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業）  
分担研究報告書

腸管不全・小腸移植病理の中央診断に関する研究

（H24-難治等（難）一般-015）

分担研究者 森井 英一 大阪大学大学院 医学系研究科 病理学 教授

**研究要旨**

【研究目的】 他の臓器と比較して拒絶反応を起こしやすい小腸移植においては、その成績向上を図るためには病理診断は重要である。症例数の少ない小腸移植の知識の共有化と標準化を図るために中央病理診断を導入するものことを目的とする。

【研究方法】 小腸移植登録施設より病理標本を事務局ないしは中央病理診断施設に送付を行う。Web 上で各病理医が小腸移植登録 CRF に入力する。国内において脳死小腸移植、あるいは生体小腸移植を受けた全症例に対して登録を行っている。当面は中央病理診断を必要とする病理標本のみを登録を行う。

【研究結果】 2013年8月より小腸移植症例 Web 登録を開始した。小腸移植症例登録システムが稼働したのちに小腸移植が実施されていないため現在は登録を待っている。

【結論】 今回、初めて小腸移植症例登録、並びに中央病理診断システムを稼働した。現在、腸管不全の患者登録、並びに小腸移植患者の登録を行っているので、より詳細な結果が明らかになるとと思われる。

資料

CRF

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
1/23

## 検査 : 登録時・被験者背景・適格規準

更新日時 : ----

性別	*1
被験者識別コード	
生年月日	
TRIGID1212 登録番号	

### 適格規準

適格規準	小腸移植を実施した腸管不全患者 *2
------	-----------------------

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : 男性, 2 : 女性
*2	1 : はい, 0 : いいえ

## 検査 : 登録時・原疾患

更新日時 : ----

移植	*1	
	回数	回目
	初回移植時の登録番号	
短腸症候群	*2	
	詳細	*3
	その他詳細	
	残存小腸の長さ	cm
腸管運動障害	*2	
	詳細	*4
	その他詳細	
その他	*2	
	詳細	*5
	その他詳細	

## 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : 初回移植, 2 : 再移植
*2	0 : 無, 1 : 有
*3	1 : 中腸軸捻転, 2 : 腹壁破裂, 3 : 壊死性腸炎, 4 : 先天性小腸閉鎖 5 : 上腸間膜血栓症, 6 : クロウン病, 7 : 外傷, 8 : 腸癒着症, 999 : その他
*4	1 : 慢性特発性偽性腸閉塞症, 2 : 腸管神経節減少症, 3 : 腸管神経節未熟症 4 : 広範腸管無神経節症, 999 : その他
*5	1 : Microvillus inclusion disease, 2 : デスモイド 3 : ガードナー症候群, 999 : その他

## 検査 : 移植前・身体所見・QOL

更新日時 : ----

身長	<input type="text"/>	cm
体重	<input type="text"/>	kg
術前状態	*1	
Performance Status (ECOG)	*2 0 : 全く問題なく活動できる。発病前と同じ日常生活が制限なく行える。 1 : 肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。 2 : 歩行可能で自分の身の回りのことはすべて可能だが作業はできない。日中の 50%以上はベッド外で過ごす。 3 : 限られた自分の身の回りのことしかできない。日中の 50%以上をベッドか椅子で過ごす。 4 : 全く動けない。自分の身の回りのことは全くできない。完全にベッドか椅子で過ごす。	
Karnofsky Performance Scale	*3 100% : 正常、臨床症状なし 90% : 軽い臨床症状あるが、正常の活動可能 80% : かなり臨床症状あるが、努力して正常の活動可能 70% : 自分自身の世話はできるが、正常の活動・労働することは不可能 60% : 自分に必要なことはできるが、ときどき介助が必要 50% : 病状を考慮した看護および定期的な医療行為が必要 40% : 動けず、適切な医療および看護が必要 30% : 全く動けず、入院が必要だが死はさしせていない 20% : 非常に重症、入院が必要で精力的な治療が必要 10% : 死期が切迫している 0% : 死	

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : Home, 2 : Hospitalized, 3 : ICU
*2	0 : 0, 1 : 1, 2 : 2, 3 : 3, 4 : 4
*3	1 : 100%, 2 : 90%, 3 : 80%, 4 : 70%, 5 : 60% 6 : 50%, 7 : 40%, 8 : 30%, 9 : 20%, 10 : 10% 11 : 0%

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
4/23

## 検査 : 移植前・臨床検査・併用薬剤・療法

更新日時 : ----

### 臨床検査

血清アルブミン	<input type="text"/>	g/dL
血清クレアチニン	<input type="text"/>	mg/dL
クレアチニンクリアランス	<input type="text"/>	mL/分

### 併用薬剤・療法

インシュリン	*1	<input type="text"/>		
抗高脂血症薬	*1	<input type="text"/>		
降圧剤	*1	<input type="text"/>		
維持透析導入	*1	<input type="text"/>	導入日	<input type="text"/>
腎移植	*1	<input type="text"/>	実施日	<input type="text"/>

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	0 : 無, 1 : 有



試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----

作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)

5/23

## 検査 : 移植時・小腸移植関連情報

更新日時 : ----

移植日			
移植適応理由	<input type="checkbox"/> TPN アクセス欠如	残存ルート本数	<input type="text"/> 本
	<input type="checkbox"/> 繰り返すカテーテル感染症		
	<input type="checkbox"/> 肝障害	詳細	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> 成長障害		
	<input type="checkbox"/> 著しい QOL の低下	詳細	<input type="text"/>
	<input type="checkbox"/> その他	詳細	<input type="text"/>
血液型	*1		
HLA typing	A <input type="text"/>	B <input type="text"/>	DR <input type="text"/>
PRA	<input type="text"/>		%

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : A, 2 : B, 3 : O, 4 : AB

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
 作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
 6/23

## 検査 : 移植時・ドナー情報 [ ]

更新日時 : ----

ドナー	*1					
生体/脳死	*2					
性別	*3					
生年月日						
レシピエント関係	*4					
	詳細					
ABO 血液型	*5					
HLA typing	A		B		DR	

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : ドナー 1(小腸・多臓器移植の場合), 2 : ドナー 2(肝・小腸同時移植にてドナーが異なる場合)
*2	1 : 生体, 2 : 脳死
*3	1 : 男性, 2 : 女性
*4	1 : 血縁, 2 : 非血縁
*5	1 : A, 2 : B, 3 : O, 4 : AB

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----

作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)

7/23

## 検査 : 移植時・誘導免疫抑制療法[ ]

更新日時 : ----

誘導免疫抑制療法	*1
	詳細
術前投与	*2
投与量	mg/kg
投与期間	日間

### 列举値一覧

No.	列举値
*1	1 : Zenapax, 2 : Simulect, 3 : Thymoglobulin 4 : Campath-1H, 999 : その他
*2	0 : 無, 1 : 有

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----

作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)

8/23

## 検査 : 移植時・維持療法 [ ]

更新日時 : ----

時期	*1
維持療法 1	*2 詳細 目標トラフ値 <input type="text"/> ng/mL
維持療法 2	*2 詳細 目標トラフ値 <input type="text"/> ng/mL
維持療法 3	*2 詳細 目標トラフ値 <input type="text"/> ng/mL
維持療法 4	*2 詳細 目標トラフ値 <input type="text"/> ng/mL

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : 術後 2 週間, 2 : 術後 1 ヶ月, 3 : 術後 3 ヶ月, 4 : 術後 6 ヶ月
*2	1 : タクロリムス, 2 : シクロスポリン, 3 : プレドニゾロン, 4 : MMF 5 : シロリムス, 6 : エベロリムス, 999 : その他

## 検査 : 移植時・手術情報

更新日時 : ----

手術時間	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
出血量	<input type="text"/>			mL
冷阻血時間	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
温阻血時間	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
移植臓器	*1 <input type="text"/>			
肝・小腸同時移植	*2 <input type="text"/>			
	部分肝	*3 <input type="text"/>		
多臓器移植	同時移植臓器	<input type="text"/>		
小腸グラフト	長さ	<input type="text"/>	cm	
	回盲弁	*4 <input type="text"/>		
動脈再建	*5 <input type="text"/>			
	詳細	<input type="text"/>		
静脈再建	*6 <input type="text"/>	部位	<input type="text"/>	
口側消化管吻合	*7 <input type="text"/>			
肛門側消化管吻合	*8 <input type="text"/>			
ストマ	*9 <input type="text"/>			
	詳細	<input type="text"/>		

### 列举値一覧

No.	列举値
*1	1 : 小腸単独, 2 : 肝・小腸同時, 3 : 多臓器
*2	1 : 全肝, 2 : 部分肝
*3	1 : モノセグメント, 2 : 外側区域, 3 : 左葉, 4 : 右葉
*4	0 : 無, 1 : 有
*5	1 : 大動脈, 999 : その他
*6	1 : 体循環系, 2 : 門脈系
*7	1 : 胃, 2 : 十二指腸, 3 : 空腸, 4 : 腸瘻
*8	1 : 結腸, 2 : 回腸, 3 : ストマ
*9	1 : 双孔式, 2 : 単孔式, 3 : Bishop-koop, 999 : その他

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
 作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
 10/23

## 検査 : 退院時・身体所見・QOL

更新日時 : ----

身長	<input type="text"/> cm
体重	<input type="text"/> kg
退院日	<input type="text"/>
Performance Status (ECOG)	<p>*1</p> <p>0 : 全く問題なく活動できる。発病前と同じ日常生活が制限なく行える。</p> <p>1 : 肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。</p> <p>2 : 歩行可能で自分の身の回りのことはすべて可能だが作業はできない。日中の 50%以上はベッド外で過ごす。</p> <p>3 : 限られた自分の身の回りのことしかできない。日中の 50%以上をベッドか椅子で過ごす。</p> <p>4 : 全く動けない。自分の身の回りのことは全くできない。完全にベッドか椅子で過ごす。</p>
Karnofsky Performance Scale	<p>*2</p> <p>100% : 正常、臨床症状なし</p> <p>90% : 軽い臨床症状あるが、正常の活動可能</p> <p>80% : かなり臨床症状あるが、努力して正常の活動可能</p> <p>70% : 自分自身の世話はできるが、正常の活動・労働することは不可能</p> <p>60% : 自分に必要なことはできるが、ときどき介助が必要</p> <p>50% : 病状を考慮した看護および定期的な医療行為が必要</p> <p>40% : 動けず、適切な医療および看護が必要</p> <p>30% : 全く動けず、入院が必要だが死はさしせていない</p> <p>20% : 非常に重症、入院が必要で精力的な治療が必要</p> <p>10% : 死期が切迫している</p> <p>0% : 死</p>

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	0 : 0, 1 : 1, 2 : 2, 3 : 3, 4 : 4
*2	1 : 100%, 2 : 90%, 3 : 80%, 4 : 70%, 5 : 60% 6 : 50%, 7 : 40%, 8 : 30%, 9 : 20%, 10 : 10% 11 : 0%

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
11/23

## 検査 : 退院時・臨床検査・併用薬剤・療法

更新日時 : ----

### 臨床検査

血清アルブミン	<input type="text"/>	g/dL
血清クレアチニン	<input type="text"/>	mg/dL
クレアチニンクリアランス	<input type="text"/>	mL/分

### 併用薬剤・療法

インシュリン	<input type="text"/>	*1	
抗高脂血症薬	<input type="text"/>	*1	
降圧剤	<input type="text"/>	*1	
維持透析導入	<input type="text"/>	導入日	<input type="text"/>
腎移植	<input type="text"/>	実施日	<input type="text"/>

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	0 : 無, 1 : 有

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
 作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
 12/23

## 検査 : 退院時・経過

更新日時 : ----

### 液性拒絶

DSA	*1
-----	----

### 経過

グラフト機能	*2		
	グラフト摘出日		
グラフト摘出理由	<input type="checkbox"/> 拒絶反応	<input type="checkbox"/> 感染症	<input type="checkbox"/> 手術合併症
	<input type="checkbox"/> リンパ腫	<input type="checkbox"/> その他	
	経過の詳細		
補液	*3		
ストマ	*4		
	完全閉鎖日		

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	0 : 無, 1 : 有
*2	1 : 完全機能(TPN 完全離脱), 2 : 部分機能(時に TPN が必要), 3 : グラフト摘出
*3	0 : 不要, 1 : 時に補液が必要, 2 : 常時補液が必要
*4	1 : 完全閉鎖, 2 : 部分閉鎖, 3 : 開存(排液<1000ml/日), 4 : 開存(排液>1000ml/日)



試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----

作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)

13/23

## 検査 : 退院時・転帰

更新日時 : ----

転帰	*1		
死亡日			
死亡理由	<input type="checkbox"/> 拒絶反応 <input type="checkbox"/> リンパ腫	<input type="checkbox"/> 感染症 <input type="checkbox"/> 肝不全	<input type="checkbox"/> 手術合併症 <input type="checkbox"/> その他
	詳細		

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	1 : 生存, 2 : 死亡, 3 : 追跡不能

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----  
 作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)  
 14/23

## 検査 : フォローアップ・身体所見・QOL [ ]

更新日時 : ----

調査年度	<input type="text"/>	年度
身長	<input type="text"/>	cm
体重	<input type="text"/>	kg
Performance Status (ECOG)	<p>*1</p> <p>0 : 全く問題なく活動できる。発病前と同じ日常生活が制限なく行える。</p> <p>1 : 肉体的に激しい活動は制限されるが、歩行可能で、軽作業や座っての作業は行うことができる。</p> <p>2 : 歩行可能で自分の身の回りのことはすべて可能だが作業はできない。日中の 50%以上はベッド外で過ごす。</p> <p>3 : 限られた自分の身の回りのことしかできない。日中の 50%以上をベッドか椅子で過ごす。</p> <p>4 : 全く動けない。自分の身の回りのことは全くできない。完全にベッドか椅子で過ごす。</p>	
Karnofsky Performance Scale	<p>*2</p> <p>100% : 正常、臨床症状なし</p> <p>90% : 軽い臨床症状あるが、正常の活動可能</p> <p>80% : かなり臨床症状あるが、努力して正常の活動可能</p> <p>70% : 自分自身の世話はできるが、正常の活動・労働することは不可能</p> <p>60% : 自分に必要なことはできるが、ときどき介助が必要</p> <p>50% : 病状を考慮した看護および定期的な医療行為が必要</p> <p>40% : 動けず、適切な医療および看護が必要</p> <p>30% : 全く動けず、入院が必要だが死はさしせていない</p> <p>20% : 非常に重症、入院が必要で精力的な治療が必要</p> <p>10% : 死期が切迫している</p> <p>0% : 死</p>	

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	0 : 0, 1 : 1, 2 : 2, 3 : 3, 4 : 4
*2	1 : 100%, 2 : 90%, 3 : 80%, 4 : 70%, 5 : 60% 6 : 50%, 7 : 40%, 8 : 30%, 9 : 20%, 10 : 10% 11 : 0%

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----

作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)

15/23

## 検査 : フォローアップ・臨床検査・併用薬剤・療法 [ ]

更新日時 : ----

調査年度	<input type="text"/>	年度
------	----------------------	----

### 臨床検査

血清アルブミン	<input type="text"/>	g/dL
血清クレアチニン	<input type="text"/>	mg/dL
クレアチニンクリアランス	<input type="text"/>	mL/分

### 併用薬剤・療法

インシュリン	<input type="text"/>	*1	
抗高脂血症薬	<input type="text"/>	*1	
降圧剤	<input type="text"/>	*1	
維持透析導入	<input type="text"/>	導入日	<input type="text"/>
腎移植	<input type="text"/>	実施日	<input type="text"/>

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	0 : 無, 1 : 有

試験名 : TRIGID1213 ver. 1.00 / 登録番号 : ----

作成者 : 腸管不全事務局 / 作成日時 : 2014/03/05 18:28:04 (JST)

16/23

## 検査 : フォローアップ・経過 [ ]

更新日時 : ----

調査年度		年度
------	--	----

### 液性拒絶

DSA	*1
-----	----

### 経過

グラフト機能	*2	
	グラフト摘出日	
グラフト摘出理由	<input type="checkbox"/> 拒絶反応 <input type="checkbox"/> 感染症 <input type="checkbox"/> 手術合併症 <input type="checkbox"/> リンパ腫 <input type="checkbox"/> その他	
	経過の詳細	
補液	*3	
ストマ	*4	
	完全閉鎖日	

### 列挙値一覧

No.	列挙値
*1	0 : 無, 1 : 有
*2	1 : 完全機能(TPN 完全離脱), 2 : 部分機能(時に TPN が必要), 3 : グラフト摘出
*3	0 : 不要, 1 : 時に補液が必要, 2 : 常時補液が必要
*4	1 : 完全閉鎖, 2 : 部分閉鎖, 3 : 開存(排液<1000ml/日), 4 : 開存(排液>1000ml/日)